

◆筑波大学附属久里浜特別支援学校で保護者授業参観及び教員免許状更新講習を開催◆

去る6月21日、本校では、保護者授業参観と、教員免許状更新講習「附属学校実践演習」を開催しました。

今回は、午前に保護者授業参観と併せて教員免許状更新講習の授業研究を実施し、午後に教員免許状更新講習の講義・演習等を実施しました。更新講習には、32名の幼稚園から高等学校、特別支援学校などの現職の教員が参加しました。

保護者授業参観は登校から下校までを保護者が参観するという形式で行い、朝の会・運動・個別の課題学習・給食等の場면을公開し、幼児児童は保護者や講習会の受講者が近くにいることで、いつもよりも緊張したり、また張り切ったりする様子が見られました。保護者にとっては普段家庭で見る子供の姿とはまた違った様子を見る貴重な機会となりました。

教員免許状更新講習は、午後には講義・演習・グループ協議等を行い、教材を実際に作成したり、午前に参観した授業についてグループ毎に協議し、その結果を発表したりしました。授業に対する受講生の意見は、学校にとっても今後授業改善等を行う上で有益な機会となりました。最後に受講生がレポートを作成し、講習会も無事終了することが出来ました。

(免許状更新講習「附属学校実践演習」は、毎年6月と11月の年2回実施しています。それぞれの附属学校が独自にカリキュラムを工夫して実施している講座です。実施時期や定員などの詳細は、筑波大学のホームページをご覧ください。)



幼稚部の集まり活動の様子



小学部の音楽の授業



小学部で行われた飯ごうでご飯を炊く授業
授業を、保護者が授業参観し、同時に教員免許状
更新講習の受講生が授業研究のため参観した。



教員免許状更新講習の実技では教材（パズル）を作成した。